

## 築川ダム検証に係る「関係住民の意見を聴く会」

(開催日時) 平成 23 年 1 月 21 日 (金) 18 : 30 ~ 20 : 15

(開催場所) 盛岡広域振興局土木部築川ダム建設事務所会議室

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 出席者紹介
- 4 ダムの検証に関する説明
  - (1) 検証に至る経緯等について
  - (2) 築川ダムの検証内容について
  - (3) 検証内容に対する意見聴取
- 5 閉会

### 出席者

以下の町内会の代表者 13 名

神子田町町内会、柳下町内会、澤田町内会、片岡町内会、見石町内会、  
東安庭町内会、門町内会、築川町内会、仁反田町内会、福名湯親和会

盛岡市 市長公室企画調整課藤沢係長

建設部河川課竹田課長補佐

上下水道局みず管理課藤澤係長

上下水道局みず管理課外下主査

岩手県 県土整備部河川課 和村主任主査

県土整備部河川課 吉田技師

盛岡広域振興局土木部 中村主幹兼河川砂防課長

盛岡広域振興局土木部 菅原河川砂防総括主査

盛岡広域振興局土木部築川ダム建設事務所 高橋所長

盛岡広域振興局土木部築川ダム建設事務所 桐野次長

盛岡広域振興局土木部築川ダム建設事務所 佐藤総括主査

盛岡広域振興局土木部築川ダム建設事務所 馬場主査

盛岡広域振興局土木部築川ダム建設事務所 小野寺主任

盛岡広域振興局土木部築川ダム建設事務所 佐々木技師

### 1 開会

○桐野次長 定刻の少し前ですが、皆様お揃いになりましたのでただ今から築川ダム検証に係る「関係住民の意見を聴く会」を開催させていただきます。私は築川ダム建設事務所

次長の桐野と申します。本日の進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。それでは、開会にあたり築川ダム建設事務所長の高橋よりご挨拶を申し上げます。

## 2 挨拶

○高橋所長 おぼんでございます。ただ今紹介のありました築川ダム建設事務所の高橋です。どうぞよろしくお願いいたします。皆様にはご多忙かつ寒いところ本日の意見を聴く会に参加していただき、そしてまた、岩手県が推進しております公共事業にご理解とご協力をいただきまして、心から感謝を申し上げます。開会にあたりまして、私から一言ご挨拶を申し上げます。本日の会議の目的でございますが、現在我が国では人口減少、少子高齢化、財政赤字の3つの不安要因を抱えていることから、税金の使い道を大きく変えていかなければならないということで、一昨年の政権交代によりダム事業もできるだけダムにたよらない治水への政策転換を進める方針となりました。この方針に基づき、昨年9月28日にダム事業を実施している都道府県知事に対し国土交通大臣からダム検証の要請があり、本県においては築川ダムの他、住田町で建設を進めております津付ダムの2ダムについて検証要請があったところであります。検証にあたっては、現計画であるダムと河川改修の組み合わせと整備効果が同等である複数の比較案を検討し、関係地方公共団体の長、学識経験者、流域にお住まいの皆様にご意見を聴いたうえで、今後の方針を定めることとなっております。本日は、県のまとめた築川ダムの検証内容について説明させていただき、流域にお住まいの皆様から築川の河川整備に関するお考えをお聴かせいただければと思っております。本日もご参会の皆様におかれましては、どうかこのような趣旨にご理解とご協力をお願いいたしまして、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

## 3 出席者紹介

○桐野次長 それではまず、出席者をご紹介します。座って進めさせていただきます。ご挨拶を申し上げました築川ダム建設事務所長の高橋です。盛岡広域振興局土木部の中村技術主幹兼河川砂防課長です。同じく菅原河川砂防総括主査です。盛岡市から、市長公室企画調整課藤沢係長です。建設部河川課竹田課長補佐です。上下水道局みず管理課藤澤係長です。同じくみず管理課の外下主査です。築川ダム建設事務所の佐藤総括主査です。小野寺主任です。県庁から、県土整備部河川課の和村主任主査です。同じく吉田技師です。それでは議事に入ります前に、最初に資料の確認をお願いします。上から順番ですが、一番上に一枚物の次第、次に資料No.1としてA4判の築川ダム建設事業の検証概要という、カラーのものがああります。これが正面に映している、これから説明する内容を印刷したものです。次にA3判の横に長い参考資料のNo.1です。次にA4判1枚ものの参考資料No.2です。築川ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場開催結果についてというものです。次にA4判の横の参考資料No.3です。築川ダム建設事業大規模公共事業再評価に係

る県民意見募集の結果及び意見に対する県の考え方、というものです。次にA4判両面になっております、参考資料No.4、築川ダムの事業概要です。一番下にカラーのパンフレットが3部ですが、一番上が築川ダムのパンフレット、次が築川道路のパンフレット、一番下が主要地方道盛岡大迫東和線のパンフレットです。以上9種類ですが不足はございませんでしょうか。A3判の横に長い参考資料は、築川ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場で説明した資料ですが、ダムの検証に係る検討の内容をまとめたものになります。それが大変ボリュームがあるので、本日はそれを概要版にして整理した内容を、スライドでご説明させていただきます。進行予定ですが、次第の4の(1)の検証に至る経緯等についてと、(2)の築川ダムの検証内容について、事務局からご説明させていただきます。最後の(3)検証内容に対する意見聴取というところで、皆様から順番にご意見をお伺いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。本日は、記録のため録音させていただきたいと思っております。後日まとめます議事録では皆様の個人名は出さない形でまとめる予定にしております。よろしく願いいたします。それでは早速議事に入らせていただきます。資料のボリュームが多いことから、何回かに分けてご説明を行いまして、節目でご質問をお受けいたします。(1)の検証に至る経緯等についてと、2番目の築川ダムの検証内容についてのうち、築川ダムの目的の辺りまでを最初に事務局からご説明いたします。

#### 4 ダムの検証に関する説明

##### (1) 検証に至る経緯等について

##### (2) 築川ダムの検証内容について

#### <事務局から資料 1 築川ダム建設事業の検証概要のうち、スライド1から13まで説明>

**桐野次長** それでは、ただ今までのご説明について、質問等ございましたら、挙手いただければマイクをお持ちしますのでお願いします。今までのところはございませんか、それでは次に治水対策案の検討と評価までを続けてご説明いたします。

#### <事務局から資料 1 築川ダム建設事業の検証概要のうち、スライド14から41まで説明>

**桐野次長** それでは、ただ今ご説明した内容について、ご質問や確認したいこと等ございましたらお願いします。

**町内会の代表者** 今、膨大な資料の中で説明を受けましたので全部は見られませんけれども、例えばダムから上は堆砂が増えますよね。そうしますと管理できる水の量が減っていくということが考えられますが、それらを見通してダムを建設なさるのでしょよねということと、私も築川の怖さというのは子供の頃から見ておりまして、川目小学校の上流の

橋がどんどん流されまして、それは沢田橋が鉄筋になってから全然流されるという影響は無かったですけれども、私たちが普段動かそうとしてもなかなか動かせない大きな岩なんかも石なんかも洪水に遭いますとどんどん流されます。土も削られます。そうしますと私達では計算できないような、威力が宅地嵩上げにも襲うこともあると思うのです。その辺も勘案したことなのかということを確認したいと思います。

**佐藤総括主査** それでは質問一つ目の堆砂の話ですが、＜12を見ながら説明＞ダムを計画する時には、左側に書いてあるとおり、砂が溜まる容量、利水容量、洪水調節容量を、下から順に積み上げてダム高を計画しております。先ほどのご質問では堆砂容量が、利水とか洪水容量を喰ってしまうのではないかというご質問だったかと思うのですが、堆砂容量は100年間溜まる量を地質とか、近傍のダムの堆砂状況から勘案しまして定めてございます。ですから通常100年経てばこのくらいまで上がりますが、洪水調節容量とか利水容量は確保出来るということになっております。二つ目の洪水の話ですが、先ほど築川の恐ろしさということをお話しされたのですが、実際、比較検討は流量だけで検討しておりまして、そこまでは踏み入った検討はしておりません。あくまでも概略設計での比較になっています。

**町内会の代表者** 総事業費がはじかれておりますけれども、冠水するような田畑の補償なども含まれているのですか。

**佐藤総括主査** それは含まれておりません。

**桐野次長** 今のご質問はダムが出来たときに、上流でダムに潰かるところのことですか。

**町内会の代表者** 土地利用規制するわけですが、ダムの上でも下でも冠水する可能性があるわけですよね、田畑なんかも。その際にいつ来るか分からないから、稲が全部やられたとか野菜がやられたとか、といったことも考えられるわけですがけれども、そういう補償は含まれていないのですね。

**桐野次長** そういうものは含まれておりません。その他ご質問や確認したいこと等ございますでしょうか。 それでは、次に残りの部分を説明いたします。

#### **<事務局から資料 1 築川ダム建設事業の検証概要のうち、スライド42から最後まで説明>**

**桐野次長** 築川ダムの検証にかかる検討の内容のご説明については以上でございます。ここまでの分についてご質問・確認したいこと等ございましたらお願いします。

**町内会の代表者** ちょっと話が出たんですけれども、普段の築川自体の水量は今より増えるのか減るのか。普段の川の流れですね。その辺はどうなのかなというのをちょっと聞きたいんですが。

**佐藤総括主査** ダムによって川の水が減るか増えるかという話ですが、ダムの構造は自然調節といいまして、ゲートがつかないダムとなっております。皆さんご存知かと思いますが、

四十四田とか綱取などはゲートがついていますが、築川につきましてはゲートをつけないで、自然に洪水調節をするので、人的な操作がありません。要は入ってくる量が小さければそのまま出ていき、洪水になってくれば水位が上がる、まるでお風呂の栓みたいな感じですよ。洪水の時は水が貯まりますが、普通の時は入った量がそのまま流れてくる構造となっております。

**町内会の代表者** 普段、要は飲み水に使う分も考えておるわけですよ。当然その分水量が減るっていうふうに考えるのが普通なのかな。そうすると。

**桐野次長** 今申し上げましたのは、ここに穴が空いているので、普段洪水でも渇水でもない時は、ここの上を流れて行きます。洪水の時は、この容量を使って貯めて少しずつ流すので、洪水の時はダムが無い時よりも調整されて水が少なくなります。渇水の時、これには描いてないのですが、ここら辺にバルブという、水を少しずつ出すような施設がありまして、渇水で水が足りなくなったり、水道水や農業用水を取ったために水量が減ってしまう時は、必要な分をこの下の方のバルブで調節して、10年に1回位の渇水までは、川として適当な、魚が住めるような、水質も悪くならないような量までに、操作して補給しますので、渇水の時、ダムが無い時よりは多くの適正な量を流せるということになります。

**町内会の代表者** ということは、少ないときは今よりむしろ逆に増える可能性の方が高いということでしょうか。

**桐野次長** はい。洪水の時は調節して少し流しますし、渇水の時、容量に限りはあるのですが、10年に1回程度の渇水までは、水道水を取って、農業用水を取っても、ここに書いてあるのですが、魚の生息のために断面によって違いますが最低30cm位は水深を確保するとか、水質が悪化しない程度の水量を、かんがい用水や水道水を取っても、そういう適正な量を流せるように補給するという計画でございます。

**町内会の代表者** 分かりました。

**桐野次長** 他にございますでしょうか。お願いします。

**町内会の代表者** 今の検証結果をずっと聞いてたんですが、国から示された検証結果は私たち素人が聞くと100点なんですけど、国にこれを3月に出して国のほうが更にチェックをかけた結果、問題点は出てきませんか。それともう一つは交付金の決定はいつ頃になるんでしょうか。今までの八ツ場ダムじゃないけども国の議論でいろんな議論がされてつて、更に追求されるっていう懸念は無いですか。

**桐野次長** 我々としては、検証のルールに則ってこういう皆様のご意見をお聞きするというような必要な手続きとか、検証の内容についても国の方で示されたルールに則ってやっていますので、対応方針を決定して報告した後は、認めていただけるという考えで作業を進めております。

**町内会の代表者** そうでなきゃ出せないと思いますけどね。何かダムについては、だいぶ国の方でも神経質になっているみたいなんで、決定までにいろんな問題が出てこないかなっていうような気もするんです。最終的にいつ頃これが決定されるんでしょうか。交付

金の決定は。

**桐野次長** 岩手県としてはですね、必要なことを全部やって年度内には国に報告したいと考えております。来年度の予算については、ダム建設のための設計等の新たな段階に進むための予算は、現時点では付かない予定です。毎年やっている調査、例えば将来も利用する、川の流量を量ったり、水質を測ったり、ダムを造るとき環境にどういう影響があるかを確認するために動植物の調査をしたりというような、毎年続けてやっている調査とか、付替道路のように継続してやってるものは来年度も付くはずだというふうに考えております。再来年度にはダム建設に向けて進められるような事業費を確保するために、今年度内には報告しますが、ただいつ頃かというのは、今全国八十何箇所でもこういう作業をやっていますので、国の方の判断が、どの位かかるかというのははっきりいって見えない状態です。4月以降は23年度ですが、24年度以降の予算は、進めるためにきちんと付けていただこうと思ってこういうスケジュールで作業をしております。

○**町内会の代表者** 年度毎に補助金が小分けにして付いてくるわけですね。

**桐野次長** はい。そうです。

**町内会の代表者** 最終的に一括してドンとつくんじゃなく、必要な経費として毎年こう積上げされてくるという結果ですね。

**桐野次長** 最近、色々なものは交付金という形で地方に任せるという制度になってきたのですが、ダムや港湾や地域高規格道路のような大規模なものは、現時点でもまだ補助金ということで県から要望して、それに対して国が毎年補助金を付けるという仕組みになっております。

**町内会の代表者** はい。わかりました。

**桐野次長** それでは他にございますでしょうか。

**町内会の代表者** 示された説明で、いずれダムが必要だということですし、一日も早く安心して住民としては住めるように早くつくって欲しいというのが、みんなの希望だと思います。で、ちょっと説明の中で私理解ちょっとできなかったのが、多目的ダムと単独ダムの違い、結果がお金としてだいぶ違うんですけども、その部分をちょっと説明いただけないでしょうか。同じダムつくるのに金額の差がだいぶあるんで、どこの部分でこの差が出るのかってのが、今の説明でわかんなかったんでお願いしたいと思います。

**桐野次長** 多目的ダムということで、洪水調節と利水と流水の正常な機能の維持と三つ機能があるんですね。その三つの機能毎に他に方策は無いのかと検討しているのですが、今ご覧になっているのは、そのうち利水という機能の部分を、他の方法でやったらどうかという比較なんですけど、利水の多目的ダムというのが今の案なのですが、完成までの費用というのが、検証のルールとして、今現在から、これから後どのくらいかかるかという残りの事業費で比較することになっております。利水の、水道の分については、盛岡市さん矢巾町さんからダムに対する負担金を支払い済みなので、これからかかる分は、ダムを造って取水するために必要な浄水場の設備を強化したり、配水管を増やしたりという、この

0.6 億円というのはその分だけになっています。多目的ダムというのは今の案で行くということです。完成までの費用というのは、これからいくらかかるかという費用を計上することになっていますので、利水については、多目的ダムの場合は今後かかる費用はほとんど残っていませんという金額になっています。単独ダムというのは、多目的ダムとして築川ダムを造るのをもし止めた場合に、利水という目的だけを果たすためには、利水という単独の目的のために別にダムを造らなければならないという案を単独ダムと言っています。

**町内会の代表者** どこにどの程度のをつくるかっていうのが全然見えてこない。どういものをつくったらこのくらいお金がかかるよってという質問じゃないですか。

**町内会の代表者** 最後 2 番目、スライド 57 ですか、だと 50 億円ぐらい今後のコストっていうのが多目的ダムと単独ダムが違うんですけども、この違いを説明するような資料がなかったんで、ということでした。

**佐藤総括主査** すいません。ちょっと補足をしますけれども、利水ダムを単独で造れば、ダム高が 24m、堤防の長さが 142m となります。今のダムサイトに造ると小さいダムのうえ道路の付替が必要になりコスト高になるので、根田茂の上流、砂子沢に利水専用のダムを造るという仮想の設計をしています。その場合、水道事業者である盛岡市さんと矢巾町さんが、また新たにお金を出して自分たちでダムを造って水を取ったらどのようになるかっていったのがさっきのコストになります。不特定の単独ダムになりますと、容量が大きいので、築川ダムが 77.2m なのに対して 59.1m となり、堤体積が 101,000 m<sup>3</sup> となります。堤体部分が約半分のものが必要になるというふうな試算をしています。以上でよろしいでしょうか。

**桐野次長** 簡単にいうとですね、小さいものをそれぞれ別々に造るよりは、一つ大きいものを造って、それを割り勘でやるという方が安いですよというような説明が、感覚的には分かりやすいかなと思います。利水の対策案というのは、もし仮に築川ダムを中止した場合に利水のためだけにダムを造るとどういうダムになりますかという案を単独ダムという言い方をしております。

**町内会の代表者** 必要とは思わないけれども、同じ場所に同じものを、利水だけのためだけにつくった場合だったら、その費用にはならないんじゃないですか。

**桐野次長** 説明が分かりにくくて申し訳ございませんが、よろしいでしょうか。それでは今までのところで他にご質問なり確認したいこと等ございますでしょうか。最後にも、何か聞き残したことございませんかという確認はしたいと思います。それでは説明を続けさせていただきます。では、次に、河川課の方から参考資料 No. 2 と参考資料 No. 3 についてご説明いたします。

**<事務局から参考資料 2 「築川ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」開催結果について、参考資料 3 築川ダム建設事業大規模公共事業評価に係る県民意見募集の結果及び意見に対する県の考え方（ダム検証の検討に関するもの）について説明>**

**桐野次長** それではただ今の説明に対しまして質問等ございましたらお願いします。大分ボリュームが多いのでかなり端折ったご説明だったのですが、何かございますでしょうか。よろしゅうございますか。

### (3) 検証内容に対する意見聴取

**桐野次長** それでは、ご説明については一通り終わりましたので、検証内容に対する意見聴取ということで、皆様方のご意見をお伺いしたいと思います。岩手県では、ご説明いたしましたように、治水対策案としては現行案のダムプラス河川改修が妥当だという判断をしております。そのご説明に対して、他の治水対策案と比べてみた場合に、この案についてこのように思うとか、妥当だとか、もう少しこうしたらいいのではないかなというような、ご意見をいただければと思っております。順番にお願いしたいと思いますので、〇〇さんから、簡単でも結構ですし、ご意見があれば長くても結構ですから、順番にご意見をお伺いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

**町内会の代表者** 町内会としてのこの問題を特別取り上げて検討したというのは、私が役員になってまだ間がないので、あまり聞いてません。それで、同じ町内の中でもダムに直接、何ていうんですか、意味合いを持つ人とまるっきり関係ないやという感じの、地域からいえばあまり関係ない人がかなり多いんです。で、私たちはそのうちの一部で、川の傍に住んでる者からすれば早くどうかはつきりして欲しいなという考えはあるんですけども、ただ全体としては、あまりよくわからないというのが町内会でのだいたいの考えだと思います。現在私たちが理解しているのが、ダムは中止になった、そういうふうに一応宣伝されて、そして付替道路はそのまま継続するんだってという感覚でしか理解してませんでしたので、今後もう少し、こういう内容、今度検証結果を出してはつきりした時点に、もっと詳しくみんなにわかりやすいような説明があればいいなと思います。以上です。

**桐野次長** ありがとうございます。〇〇さんは、築川に関係する分というのは、広い範囲のうち〇〇からこちら側なので、あまり割合は多くないのですね。

**町内会の代表者** でも恐怖感はかなり大きいです。その部分に関しては。

**桐野次長** 全体としては、築川よりは北上川の方の影響を受ける部分が多いと思います。

**町内会の代表者** 溢れた水と築川のあの増水の濁流とどっちが恐怖かっていうと、やはり濁流のほうが恐怖感が強いですね。ただ、地域的に何ていうんですか、地面の高低が低いのはほんの数世帯だけです。見捨てられてもしょうがないのかなと思ったり、変にいじけたりしている部分もあるんですが。ほんとにそうですね。〇〇とあと2、3世帯しか低い部分はないですから。まあそんなところです。

**桐野次長** ありがとうございます。中止になったと誤解されている方もいらっしゃるようですが、そういう誤解の無い様に、きちんと広報に努めて行きたいと思ひます。中止

ということではなく、民主党政権になってから、まだ本体に着工してないダムについては、国で出す基準に沿って、きちんと検証しなさいということになり、その検証が終わるまでは次の段階には行きませんということです。検証が終わるまでは次の段階に行かないという状態が続いているところでございます。そこら辺は誤解されないように広報に努めて行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。では次の方をお願いします。

**町内会の代表者** まあ私も一通り説明を聞いたんですがボリュームが一杯なのでですね、ただ、ちょっとね、やっぱり中止かもしれないっていうような関係のことを耳にしたりしている中で、水道水の確保っていうのが盛岡市も矢巾町も絶対必要だっていう意見ですよ。この辺がね、何となく、こう、今、水は十分余ってるんじゃないかっていうような雰囲気があるわけですよ。十分無くてもやりこなせるんじゃないかっていうような雰囲気が感じられるんですけども、その辺についてですね、まあさっき見解でたから、あえてそれは違うってことは言えないかもしれないけど、そういう雰囲気がある。それから洪水調節っていうことあるわけですけども、実際、まあ、これ基本的なことかもしれないけど、もしここで止めたらばどのような洪水の影響を被るのか、その辺ちょっと意見じゃなくて、ちょっと説明してもらえばありがたいと。まあ、そもそもダムが必要だっていう原点に立ってる洪水調整と、その流水の正常な機能の維持ということで、それと水道水三つだという目的だということに対してですね、何かちょっと十分ですねPR不足じゃないのかなと。私自身も今日のことで基本的なところに立ち返って申し訳ないんだけど、ちょっとまずはその辺をきちっとPRしてもらえればありがたいという意見です。

**桐野次長** ありがとうございます。ご質問の部分もあったので若干お答えしますが、想定してます 100 年に一度という規模の雨が降って水が出た場合、ここで止めたらというのは、河川改修も何もしないとどうなるかということ、100 年に 1 回規模の洪水の時には、スライドでいうと、オレンジ色で示している範囲が洪水の可能性のある区域として残ることになります。水道については、あくまでもダム事業者として市、町からご意見をお聞きして確認したという範囲での答えになるのですが、盛岡市トータルについては、水の量は足りなくはないのですが、築川から水を取る沢田浄水場というところが、ポンプアップしないで、築川から水を取って自然流下で浄水場配水地まで流れてきて、そこから自然流下で配水するというので、非常に効率もいいしコストも安い水源であり、かつ、その供給先が盛南開発の周辺等、これから人口が増える範囲だということで必要だというふうに聞いて岩手県としても内容を確認しております。矢巾町については、人口も減りませんし、宅地開発とか、岩手医大関係の移転を抱えていますので、そういう開発構想もあるので量としても必要であり、地下水という不安定な水源だけではなく、水源の多様化ということでも必要ですという意見をお聞きして、県としても確認しているところです。それでは次の方をお願いします。

**町内会の代表者** 今、〇〇さんもおっしゃったように取水のことなんですが、取水は沢田浄水場が自然取水というような格好になってます。それから築川の洪水、戦後私この流

域に住んでるわけなんです、戦後 20 年のカサリンとかあって、水害にあったわけなんです。非常に昔からお年寄りの人たちは「築川は暴れ川だ」というような話をされて非常に洪水のことについては、非常に恐ろしさを感じております。ですから、取水もあれなんです、洪水の治水という格好で早くやっていただければ、私らの方は非常に嬉しいことでございます。とにかく築川が早く治水のような格好、解決していただければ非常にうれしいです。以上です。

**桐野次長** ありがとうございます。〇〇さんお願いします。

**町内会の代表者** 私、以前築川ダムの問題等につきましての討議の場に出席させていただいておりますが、それ以降ですね、どうも、いわゆる時の政治が変わるものですから、当初は平成 29 年頃に完成するといったようなお話を伺ってございましたんですが、今日この最初にご説明いただきました資料の 17 ページでもって、ダム+河川改修は完成予定が 10 年後となっておりますけども、いわゆる八ツ場ダムの関係のように予算をつけないとか、そういう問題が、どうも一貫した政治姿勢がないものですから、その辺からいうとこの 10 年後にはだいたい完成、完成っていうんですか、完成する予定というふうに捉えてよろしいんでしょうか。まあ、だいぶ当初の討議では魚はどうなるんだとかとかいったような様々ありましたけれども、先ほどダムからのいわゆる水量の、絶えず流れる水量の問題等につきましては、それは心配なくなったなど。ただ、予算の配分がなかなか、どうも時の政治が左右してるものですから、我々がダムできますよとって地元地区民にですね、説明ができるのかどうかといったようなことなんですね。ですから、これから県と話し合っていくんですか、した上で、そして国の方に提出すると。で、そのまま予算化されれば問題ないはないと思うんですけども。さっきも何回もいうようですけども、そういった国のいわゆる大赤字を、借金を抱えた国でございますのでね、その辺からいって、この完成予定の 10 年後というか、10 年後のそうするとそれから何年ぐらいかかるのかなといった、その辺をちょっとお伺いしたいと思ひまして。その他はだいぶ私たちの討議した時の意見を踏まえた、いわゆる改良等様々なされておりますから問題ないと思ひます。以上でございます。

**桐野次長** ありがとうございます。現時点での、今後の見込みにつきましては、横長の参考資料の 11 ページにお示ししております。今これと並行して事業の再評価もやっております、5 年前の再評価時点では 28 年度完成というご説明をしていたと思ひます。その後用地関係の遅れとかで、約 2 年現時点まで遅れていまして、少し前までは平成 30 年度完成予定と言っていたんですが、今回この検証の作業の関係で、また概ね 2 年遅れる見込みです。それで途中でもご説明しましたように、今年度内に結果を報告して、23 年度予算は難しんですが、24 年度予算からは次の段階に進めるような予算を獲得して、そこに書いてるように、平成 24 年度からダム本体の設計にかかれば、平成 32 年度には完成できるだろうという見込みで進めております。それでは、〇〇お願いします。

**町内会の代表者** 先ほどからいろんなことを資料で説明を受けましたけども、まあ、な

かなか専門的なこともちょっとわからないんであれなんですけども、実際に〇〇町内会は平成14年に首の皮一枚つながって堤防があれで、避難した町内会でございます。できれば町内会の、同じ町内会でも山手の方の方々はあまりピンと来ないんですけども、直接洪水になった場合被害を被る方々はなるべく早くやって欲しいということを痛切に感じておりますので、いろいろなあれもあると思いますけれども、極力早く進めていただけるように努力のほうをよろしくお願ひしたいということです。特別あとはございません。

**桐野次長** ありがとうございます。〇〇さんお願ひします。

**町内会の代表者** 今、〇〇の代表の方も言ってたように14年度のですね、本当に土手が決壊したときには、ゾッとしたなっていうことが正直なところで、その後何べんか市との懇談会の中でも、あの堤防は何か、穴を塞いだっていいですかね、元通りに戻しただけにしか私ら素人には見えてないんですけどね。この100年に一度が間違っってこの10年間、完成前の10年間の間に少し早めてですね、例えば2年後とか5年後とかというような、今、全国的にもあまりこういう例の無い洪水だったいったところは、去年とか一昨年とかよく聞いてますんでね、そういったことを含めて今ダムから下流6箇所ぐらい、こう、堤防の嵩上げとか、そういう河川改修の箇所、重要部分が入ってたようですけどもね、いずれ途中で投げ出さないで早めに完成していただきたいっていうのが、まあ、ひとつの願ひでございますが、100年に一度が2～3年のうちに来るようなことは絶対無いとは私らも攻めるつもりはございませんけども、そういった意味でも、あの辺の堤防の強度とかですね、そういったぐらいのところは、まあ腹の中をえぐるようで失礼ですけどもね、2時間、3時間100ミリの雨が、雨量があるとあつという間に、あの辺は弱いところではないかなと素人的に思ってますが、いかがなものでしょうか。

**桐野次長** 平成14年の災害の時に決壊しそうな堤防については、今現地を見ると、ただ土をかけているように見えますが、必要なところに護岸工を張っているのですが、その上に覆土とって、今は環境を重視している関係で、護岸を張った上に土を被せてあるので土の堤防に見えるのですが、災害復旧工事で根固めも含めて必要な工事をして、そのあとボーリング調査等で、昔の堤防は構造が分からないものですから、中の様子も調べて、少なくともダムが出来たときに調整されて流れてくる量に対しては安全だという確認はしているところでございます。そのくらいでよろしいですか。では次、〇〇さんお願ひします。

**町内会の代表者** 私、平成2年の増水したときも朝から1日見てました。それから14年、崩れていく堤防の先っぽに立って見てまして、怖いなという経験してました。で一日も早く完成してもらって安心な日々を送りたいということを希望しております。以上です。

**桐野次長** ありがとうございます。〇〇さんお願ひします。

**町内会の代表者** 私も皆さんとだいたい同じような意見ですけども、まずダム+河川改修の現行案で行くという県の案があるわけでございますので、私としてはそれに対しては賛成でございます。なお、一番完成が早いのはその構想なわけですけども、これから

10年先ということになりますと、自分個人の考えですけども、私はその時点ではないんだろうなというふうに思った時に、なんとしても生きてるうちに何とかしてもらいたいというのが本音でございます。それだけお願いしておきます。以上です。

**桐野次長** ○○さんは代表の方ということでよろしいですか。はい。次に○○さんの代表の方でもお一人ずつでも結構ですのでお願いします。

**町内会の代表者** 先ほどの質問がちょっと、意見足らずだったので追加して話しますが、この最後のページの国土交通大臣補助金交付等に係る対応方針の決定ってあるんで、いつになるんですかっていうのがここだったんですよ。まあ、答えはよろしいです。皆さんと同じく、この築川ダム completion は流域住民にとっては早くやってくれてというのが真意だと思います。先ほども出ましたが、「築川は暴れ川」だってのはこれはもう代々言い継がれてきたことでございますので、なんとしても事故の無いように早く仕上げたいというふうに思います。それから、事業中止っていうのが参考資料No.3にありますけど、この中で11番に多様な生態系の維持・存続うんぬんってありますけど、この前の説明を受けた時に道路についてはけもの道もつくってますよって話がありました。ダムについても魚道もつくるだろうと思いますので、その辺をですね、住民にわかるようにPRした方がいいのではないだろうかというふうな気がします。そうでないと変なところで中止、中止って騒がれても困るんで。そういうことは配慮して欲しいなというふうに思います。以上です。

**桐野次長** 一部ご質問がありましたのでお話しんですけども、けもの道が大規模な盛土の道路で塞がれた時に、小動物等が行き来できないところで、必要と思われるところに通れる道をつくっているのはそのとおりです。ただ、魚道については、砂防ダムのような余り高さの低いダムについては魚道を付けているんですが、ダムがこの位高いところには、魚道を設置している例はほとんどございせんし、経済性とか、どういう規模のものを造らなければならないというのを考慮して、難しいというよりは、できないということで、魚道は付けない計画でございます。よろしいですか。では次の方お願いします。

**町内会の代表者** 私はこのダムに関しては移転者なもんですから、ひとこと、まあ、なにしろ話が出たのが30年前の話ですよ。もうその間に待ち望んで、かなりの人が他界しております。ここに引っ越してきてそれでも13年経って、その間にもやっぱり10名ほど他界しておりますよね。まあ、みんな期待してここに移転してきたんですけど、なかなか話が進まないのが、かなりな心残りです。死んでいったんじゃないかと思ったり。まあ、できれば早めにつくって欲しいと思います。へたすりゃ私も見れるかどうかわかりませんが、がんばっていただきたいと思ったり。以上です。

**桐野次長** ○○さんはお一人でよろしいですか。いろいろと貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。それでは最後に全体を通して、いい足りなかったこととか、これを聞かなかったというようなものがございますでしょうか。特にございせんか。それでは議事については以上で終了させていただきます。ありがとうございました。それでは、本日は予定の時間よりかなり超過いたしましたけど、長時間に渡りまして大変ありが

とうございました。築川ダム建設事業の検証に係る検討については、本日の意見も踏まえまして、途中でもご説明しましたが、今年度内に県として方針を決めて国に報告することとしております。以上をもちまして、築川ダム検証に係る関係住民の意見を聴く会を終了いたします。本日は遅くまで大変ありがとうございました。これで終了いたします。